



中村小学校だより



ふるさとを愛し 豊かな心と夢をもつ かしこくたくましい 中村っ子の育成

令和8年度（2026年度）5月号

子どもたちの学びを守るための運動会の見直しについて

校庭の木々が鮮やかな緑に彩られ、爽やかな風が吹き抜ける季節となりました。

さて、今月23日（土）には、子どもたちが楽しみにしている運動会を開催いたします。今年度の運動会を実施するにあたり、本校では「体育の学習の在り方」を見直し、今年度からいくつかの変更を行うことといたしました。保護者の皆様には、その背景にある本校の考え方をお伝えし、ご理解をいただきたく存じます。

1 多様な体育学習の時間を確保するために

小学校の体育科では、学年に応じて年間90～105時間の授業時数が定められています。これまでは、その多くが運動会の練習に充てられてきた経緯があり、マット運動や跳び箱、球技といった他の大切な単元の学習時間が圧迫されるという課題がありました。

今年度は、運動会の練習時間を精選し、年間を通じてバランスよく、多様な運動経験を子どもたちに保障したいと考えております。そのため、表現運動（ダンス等）を簡素化・省略したり、競技内容を工夫したりすることで、限られた時間の中で最大の成果を目指してまいります。

2 開催時間と授業時数の確保について

学校評価等のアンケートでは、コロナ禍以降定着した午前中開催に対し、「午後の開催も検討してほしい」という貴重なご意見をいただきました。しかしながら、現在、学校現場では授業時数の確保が極めて厳しい状況にあります。

すでにお知らせしておりますとおり、令和8年度から下松市の全小中学校で、修了式・卒業式が2日早まることが決まっております。特に6年生の年間標準授業時数「1015時間」を確実に確保するためには、特定の行事だけに多くの時間を費やすことが難しく、教育活動全体の持続可能な形を模索する必要があります。

3 子どもたちの「今」を支える運動会へ

練習時間は短くなりますが、子どもたちが目標に向かって努力し、仲間と協力する喜びを味わうという運動会の本質は変わりません。むしろ、一つひとつの練習に集中して取り組むことで、自律的な能力を養う機会にしたいと考えております。

当日は、練習の成果を力いっぱい発揮する子どもたちの姿を、ぜひ温かな拍手で応援していただければ幸いです。今後とも、子どもたちの「確かな学び」を支える教育活動の推進にご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

（校長 末次 淳義）

運動会の練習が始まります

ゴールデンウィークが明けるといよいよ運動会練習が始まります。気候もどんどん夏に近づき暑い中での練習が予想されます。練習に安心・安全に取り組めるように以下の点にご留意いただければ幸いです。

- 早く寝てしっかりと休息をとる。
- 朝ご飯をしっかりと食べる。
- 水分補給をこまめにする。（水筒の準備を）
- 練習の様子を聞き、しっかりとほめる。

子どもたちの見守りを!!

中村小校区の道路は、朝夕の車の通行量が多くまた学校近隣の道幅も狭く、十分の注意が必要です。そんな中、保護者の方々の朝の立哨や下校時の見守りなどご協力いただき感謝しております。引き続きよろしくお願いいたします。

中村小学校 チャレンジ目標【4つの「あ」】

「あいさつ」「ありがとう」「あとかたづけ」「あんぜん」
＜教頭宣言＞私も昇降口や廊下で積極的に挨拶をします。